

健康通信

ドクターカー



救命救急センター部長兼
救急科部長医師

井上 卓也

皆さん、ドクターカーってご存

知でしょうか？ドクターカーとは医師を乗せて救急現場に駆けつける緊急車両のことです。ドクターカーには2種類あり、患者さんを搬送できる救急車タイプと、医療スタッフを現場に連れていくだけの乗用車タイプがあります。当院では2014年から乗用車タイプのドクターカーを運用しています。車体の色は白ですが、目立つように赤や青のラインや文字が入っています。市内を走っているのを見たことのある方もいらっしゃるの

はないでしょうか？

市内で119番通報をすると、尾張中北（おわりなきた）消防指令センターにつながります。指令センターが、通報内容からドクターカーが必要と判断したら、当院へ出動を要請します。ドクターカーは救急車と同様にサイレンを鳴らして現場へ急行します。現場に着いた医師と看護師は、救急隊と協力して応急処置を行います。患者さんの搬送は救急隊の救急車でを行い、医師と看護師が同乗して、治療を続けながら病院へ向かいま

す。交通事故、労働災害、心肺停止、ショックなど、重篤な怪我や病気に対して早期から医師が介入できるのが大きな利点です。当院のドクターカーの運用開始後1年間の実績としては、出動数99件、対応した患者数100人でした。成果の一部を披露しますと、1年間でドクターカーが対応した心肺停止の患者さん15人のうち3人が救命されて社会復帰となりました。社会復帰率は20%となります。平成29年度の愛知県のデータでは、救



急搬送された全ての心肺停止患者の社会復帰率は約4%でしたから、ドクターカーの威力をお分かりいただけるのではないのでしょうか。

平成27年度の全国調査で、ドクターカーのある医療機関は全国に397施設ありましたが、そのうち1週間に1回以上の頻度で出動している活動的な施設は86施設（21%）しかなく、274施設（69%）は3カ月以上出動がない「休眠状態」であることが分かりました。小牧市は活動的ドクターカーシステムにカバーされた希少な地域の一つです。この素晴らしいシステムをさらに発展させて、地域の救急医療を充実させていきたいと考えています。

ドクターカーは安全を最優先して走行しています。交差点に進入するときは、赤信号でも前方、左右を確認し、救急車と同様に緊急走行しますので、ドクターカーがサイレンを鳴らして走行しているところを見かけた場合は、道をお譲りくださいますようお願いいたします。

問合先 市民病院（☎76・4131）